

地方独立行政法人 北松中央病院 第6期中期目標期間業務実績見込評価結果【報告書】

◎ 小項目評価

1 住民サービス等質の向上（住民に提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置）

小項目区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
① 医療の提供 （地域の実情に応じた医療の提供） 【3～5P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> R3年度からは内科医9名の常勤医で入院・外来機能を保持し、地域住民に安定した医療の提供を続けることができている。また、糖尿病内科、脳神経内科、外科、整形外科、脳神経外科の慢性疾患は非常勤医にて診療を行っている。また、コロナ禍で地域に必要な診療科等の新設には取り組むことができていない。 中期目標期間中の患者数については、新型コロナウイルス感染症のなか入院患者制限、外来長期処方などで減少し、病床利用率にも影響があり、診療報酬収益の大幅な減少になっている。ただし、延べ入院患者数、病床利用率は、R4年度からはR3年度より増加・回復する見込みである。 平均在院日数については、入院基本料（急性期一般入院料6）10対1看護基準の範囲内で保っている。これらの点から、指標だけ見ればD評価であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあることから、C評価とする。
② 医療の提供 （高度・専門医療） 【6～8P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、外科医がそれぞれ高度な専門的医療を継続するために、学会や講演会などに参加し研修を行うとともに高度医療の実践に必要な医療機器の更新や整備を行い、医療スタッフを含めた病院全体のスキルアップを図ってきている。中期目標期間中は新型コロナウイルス感染症の影響のためリモートであったが、高い医療レベルを保つように、医師、医療スタッフの研修を継続して行った。 また、コロナ禍で指標の件数が減少しているが、専門医による透析医療の提供を継続し、内視鏡検査および処置（内視鏡粘膜剥離術、緊急止血術、緊急胆道ドレナージ術を含む。）や心臓カテーテル検査、治療も継続して行った。さらに年度毎に、高度医療機器の導入をおこなって医療レベルの向上に取り組んでいる。これらの点から、指標だけ見ればD評価であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあることから、C評価とする。
③ 医療の提供 （救急医療） 【9～10P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 中期目標期間中はコロナ禍において、地域での二次救急病院として、年間400台前後の救急車を受け入れ、目標に近い地域での初期・二次医療の完結率を保持し、365日救急医療に対応している。また、ヘリポートを活用し、積極的にドクターヘリを受け入れ、地域のドクターヘリアksesポイントとしても活用している。 救急車搬送受け入れ件数・救急外来患者数はR3年度にコロナウイルスの影響で一旦減少したが、R4年度には回復していく見込み。これらの点から、指標だけ見ればD評価であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあることから、C評価とする。
④ 医療の提供 （生活習慣病（予防）への対応） 【11～12P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病専門医と糖尿病療養指導士、管理栄養士などが連携し、糖尿病患者へ食事、運動、服薬、インスリン注射などを含めた日常生活の指導やフットケアなど専門的ケアを行って生活習慣病（予防）への対応に努めている。さらに合併症である循環器疾患、糖尿病性腎症に対しても専門医、心臓リハビリ指導士、糖尿病療養指導士などが早期から介入し治療にあたって、血液浄化センターを用いて地域の透析患者への治療を提供している。 また、外来フロアではテーマ毎に年間を通してイベントを催し患者、家族への啓発活動を行い、地域住民の生活習慣改善など指導に努めている。これらの点から、C評価とする。

小項目区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
⑤医療の提供 (感染症医療・ 災害対策) 【13～15P】	B 計画を上回って	B 計画を上回って	B 計画を上回って	<ul style="list-style-type: none"> 感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症に対して、フェーズ0から地域での中心的な診療を行い、フェーズ4から緊急時レベルⅠ/Ⅱにおいては、中等症患者を中心に重症患者まで診療を行っている。また、新型コロナウイルス感染症の収束に向けて、医療従事者ばかりでなく地域住民のワクチン接種を積極的に行っている。さらに、全職員を対象とした院内感染対策研修会を実施し、職員の感染症に対する知識・対応力の向上に努めている。 災害対策については、災害拠点病院として重要な役割を完遂できるように大規模な災害や事故の発生に備え、必要な人的・物的資源の整備により、必要となる医療救護活動を実施できる体制を維持している。また、迅速な対応が行えるように定期的な訓練を行い、災害に対する知識や技術を深めている。 研修については、院内でスタッフに対して実施し、災害派遣技能維持研修などに積極的に参加し自己研鑽に努めている。これらの点から、感染症対策、災害対策を通じて地域に多大の貢献をしており、B評価とする。
⑥医療の提供 (リハビリテー ションの充実) 【16～18P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 中期計画期間中はコロナ禍ではあったが、理学療法士6名、作業療法士2名、言語聴覚士1名を維持するとともに、急性期から回復期リハビリを個別により充実した訓練を実施し、患者の早期の在宅復帰を支援する体制を維持している。さらに、高次医療機関から回復期リハビリテーションが必要な患者を積極的に受け入れ、在宅への復帰とともに復帰後の外来診療における患者の機能回復を支援している。また、佐世保北部地域等で唯一の心臓リハビリセンターを用いて、心筋梗塞後や慢性心不全後、大血管手術後の患者の在宅復帰の支援を行っている。 新型コロナウイルス感染症での訓練制限、診療報酬改定の影響、育児休暇でのスタッフの減少などに伴い、単位数が減少し、収益にも影響が出ているため、指標だけ見ればD評価であるものの、地域における回復期リハビリテーションの貢献度が大きく、これらの点から新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、C評価とする。
⑦医療の提供 (介護保険サー ビス) 【19～20P】	C 概ね計画通り	B 計画を上回って	B 計画を上回って	<ul style="list-style-type: none"> 周辺地域の住民が、在宅での介護や治療を安心して満足に受けられるよう、地域に必要とされる体制を維持・拡充し、補完するため、在宅サービスを提供しており、居宅介護支援事業所、訪問看護ともに利用者に顧客満足度のアンケートを実施し、利用者の声を聴き改善すべきことは改善を行いサービスに繋げている。 定期的な委員会と病棟での多職種との合同カンファレンスに参加し、居宅介護支援、訪問看護、MSW、リハビリ科、外来等で情報の共有や事例検討などカルテや院内メールを利用し連携がスムーズにいくように努めている。 令和4年度は、居宅介護支援事業における居宅稼働件数において、対応する職員が1名退職予定となり、新たな人材確保が難しい状況にあることなどから、目標値に対する実績見込値を下げているが、計画全体で見ると、その他はほぼ計画を上回って進捗したため、B評価とする。
⑧医療水準の向 上(医療スタッ フの人材確保) 【21～23P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 当院は医師・看護師等人材の確保に尽力しており、現在は医学生6名(医師免許取得者2名含む)、看護学生1名、薬学生1名に修学資金を貸し付け、将来のスタッフの確保を行っている。また、さらなるスタッフ確保のため、関係機関にポスターの配布を通じて修学資金制度を周知することに努めている。 医師の事務作業の負担軽減のため、医師事務作業補助者を配置しアシストする範囲を広げ、書類の作成の補助を行っている。中期目標期間中は院内保育所の継続とともに、医師・看護師確保および救急医療体制の整備の目的で建設した医師住宅、看護師住宅を活用しスタッフの確保に努めている。これらの点から、C評価とする。

小項目区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
⑨医療水準の向上（医療スタッフの専門性及び医療技術の向上） 【24～25 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 中期目標期間中はリモートにより看護師、コメディカルスタッフは、各々の専門分野において、積極的に関連する研修会・勉強会・学会に参加し、その専門知識の取得と技術の向上に努めている。 また、必要に応じてあるいは各職員の意欲により、専門資格の取得に努め、幅広い業務範囲に対応し、医療技術へのサポート体制を高めることにより質の高い医療の提供と、効率的な病院経営の両方に寄与している。これらの点から、C評価とする。
⑩医療水準の向上（医療人材の育成） 【26～27 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 中期目標期間中はコロナ禍であったことにより医療人材の育成については、予定通りの臨床研修の場としての役割を十分に担っていくことができなかつた。しかし、看護学生の実習など、可能な範囲で医療人材の育成に努めた。これらの点から、C評価とする。 当院は、来院者の居住範囲が広いこと、オンライン診療や訪問看護における健康状態の検査などデジタル技術を用いた健康管理・検査・診療なども、可能なところから中期的課題として検討されることも有意義であると思われる。
⑪医療水準の向上（臨床研究の推進・医療の質の向上） 【28～29 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 臨床研究の推進・医療の質の向上のため、長崎大学を中心とする臨床研究に引き続き参加し、共同研究を行っている。これにより、C評価とする。
⑫患者サービスの向上（待ち時間の改善） 【30～31 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 患者サービスを向上させるため、外来診察時の待ち時間の改善に努めていき、検査や小手術については、ほとんど待ち時間のない現状の体制を維持している。また、現在の患者満足度の評価にあわせて、具体的な評価のために、予約時間から会計終了までの時間を一定期間測定し、比較検討している。 待ち時間の改善策として、予約時間枠や枠内の人数の見直し、待ち時間の説明に加え、待ち時間を利用した生活指導や栄養指導、図書の充実、DVD放映など、待ち時間の有効活用を実施している。平均待ち時間は短縮されてきたが厳しい評価もあり、現行の継続に加え引き続き改善策を検討して患者サービスの向上を目指していく。これらの点から、C評価とする。
⑬患者サービスの向上（院内環境の快適性向上） 【32～33 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 患者や来院者に、より快適な環境を提供するため、施設の改修及び補修を適宜に実施している。特に、入院者の環境に対する評価は期中年度ごとに高まっている。また、患者のプライバシー確保に配慮した院内環境の整備については、コロナ禍で感染対策を優先するため現状では至っていないが、状況が変われば整備していくものと考えられる。 これらの点からC評価とする。さらに採算性を考えながら、今後デジタル技術のさらなる活用を図ることなど、中期的視点に立った検討をすることが望まれる。
⑭患者サービスの向上（患者満足度の向上・インフォームド・コンセントの徹底） 【34～35 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査の結果、全体の平均点がわずかではあるが向上し、一方、不満、やや不満が多い「診療待ち時間」、「駐車場の利便性」についての割合は共に減少してきて、患者サービスは着実に向上してきている。 今後は、さらに予約時間枠や枠内の人数の見直し、シャトルバスの運行、駐車スペースの拡大など引き続き改善策を検討して患者サービスの向上を目指していく方針を打ち出している。これらの点から現状ではC評価とする。
⑮患者サービスの向上（職員の接遇向上） 【36～37 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な対応として、接遇に関するご意見や苦情が発生した場合、その苦情に対して医療相談室が当該セクションと連携をとり発生の状況等の考察、対策の徹底を行っている。改善事項は、院内供覧を行うなど全職員が共通認識を持てるようにし、再発防止に努めておられる。 本来は、外部講師による院内講演会・研修をしているところ、コロナ禍で院外講師を招いての集合研修は実施できないが、インターネット研修を推奨するなど接遇向上に努めておられる。これらの点からC評価とする。

小項目区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
⑩患者サービスの向上（医療安全対策の実施） 【38～39 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理委員会を中心として、院内感染対策委員会、各部会が、安全な医療環境の提供を目指して、円滑に機能するための助言・指導を現場にフィードバックできるシステムづくりに努めている。 また、発生が懸念されるような医療安全上の問題点については、職員全員が情報共有、医療安全管理委員長の指示のもと、未然防止策の検討と運用の改善を組織的に行っている。これらの点から、C評価とする。
⑪地域医療機関等との連携（地域医療機関との連携） 【40～41 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 佐世保北部地域等に不足する医療機能を補うため、地域連携室を中心に地域医療への連携強化に取り組み、地域に求められる医療体制を維持し、地域の開業医の先生方や施設などと連携を図っている。これにより、全体的にみてC評価とする。
⑫地域医療機関等との連携（地域医療への貢献） 【42～43 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉サービスを提供する地域の様々な施設とのネットワーク、連携及び協力体制の強化を図ってきている。また、地域において必要とされる役割を積極的に果たすため、地域医療機関や福祉施設などと合同の研修会や研究会を開催し、事例検討や情報交換による連携強化を図ってきている。 R3年度はコロナウイルスの制約を受けて地域医療への貢献が十分にできなかった面もあるが、R4年度は、新型コロナウイルスの感染動向を見ながら交流会や研修会を開催するなど、貢献を充実する方針であり、C評価とする。
⑬市の施策推進における役割（市の保健・医療・福祉行政との連携） 【44～45 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 行政が推進する予防医療の実現に向け、コロナ禍で制限しているなか企業健診、がん検診、人間ドックなどは継続して行っている。このことから、C評価とする。

2 業務運営の改善及び効率化（業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置）

小項目 区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
①効率的な業務運営と情報公開【46～47 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な業務運営のため、毎月開催される理事会で業務運営方針を決定し決定事項に則した業務が効率的に行えるよう毎月各部門の責任者が出席する病院運営戦略会議を開催し、職員全員に周知徹底している。この点から、C評価とする。
②事務部門の専門性の向上【48～49 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 医事部門においては、定期的な院内研修、院外研修を行い、診療報酬改定に対応できる専門職員を育成する。また、専門性の高い医療クランクを育成し、医師、看護師の書類作成などの補助を行い、適切な事務処理を効率的に行うとともに医療スタッフの負担の軽減を図る。 診療報酬改定などに対して職員の総合力を強化する（スキルアップ）ため、代理での職務を遂行できるようになり、臨機応変に対応することができている。また、窓口対応に必要な知識や技術の習得は勉強会や日々の申し送りにより明らかにスキルアップしており、満足してもらえる窓口対応ができるよう努めている。これらの点から、C評価とする。
③職員満足度の向上【50～51 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 適材適所に人材を配置することで、効率的な職場を実現し、ストレスなく働ける職場環境になるよう努めている。 また、短時間勤務などの職員のニーズにあった勤務形態なども考慮していくなど、職員の満足度の向上と離職防止に努めている。（中期目標期間中の離職者については、新人看護師はおらず、定年、県外の大病院でのスキルアップ、家人の転勤などの理由で離職している。）離職率を低下させるためにも、職員の満足度調査（ES）実施を検討する必要がある。現状では職員満足度を高く維持しているため、C評価とする。

3 財務内容の改善（財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置）

小項目 区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
①経営基盤の確立と財務体質の強化【52～53 P】	C 概ね計画通り	B 計画を上回って	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> R2年度、R3年度は、純利益等の各収益の確保の指標については、新型コロナウイルス感染症による病床確保のための補助金などにより、目標値より大幅に増加した数値を計上できている。 また、財務内容の改善の指標（自己資本比率、固定長期適合率、流動比率）については、安全性を示す数値の範囲内に位置している。これらの点から、指標だけ見ればB評価ではあるものの、その要因は計画策定当初に見込めなかった新型コロナウイルス感染症に対する補助金の影響が大きいことなどを踏まえ、収益の確保については総じて計画通りと判断し、C評価とする。
②収益の確保と費用の節減（収益の確保）【54～56 P】	C 概ね計画通り	B 計画を上回って	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 収益の確保にも影響を及ぼす医師の減員は回避することができている。また、医業収益は新型コロナウイルス感染症での補助金などで増加し、経常収支比率、営業収支比率は計画より上回っているが、補助金を除くと医業収益は入院制限、外来長期処方などで減少している。 診療報酬の請求漏れや減点に関しては低い水準を維持している。未収金対策として未収患者に対しては窓口での請求書発行後3か月間電話連絡を行い、3か月後に督促状の送付を行い、年度内未収金の縮減と過年度未収金の縮減を図っている。これらの点から、指標だけ見ればB評価ではあるものの、その要因は計画策定当初に見込めなかった新型コロナウイルス感染症に対する補助金の影響が大きいことなどを踏まえ、収益の確保については総じて計画通りと判断し、C評価とする。

小項目 区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
③収益の確保と費用の節減（費用の節減） 【57～58 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 材料費比率、医薬品比率について、目標値を下回って推移するように運営している。後発医薬品採用率（数量ベース）は、少しずつ高める努力が見られる。医薬品、診療材料については購入方法の見直しは出来なかったが、個々の雑貨、事務用品などについては新規納入先の開拓ならびに同一性能の安価製品への移行を引き続き行っている。 また、入在庫及び在庫管理を的確に行い、適正在庫の把握に努め他部署と連携し情報の共有を行い経費を抑制し、より一層の経費削減に繋げている。これらの点から、C評価とする。
④予算・収支計画・資金計画 【65～69 P】	C 概ね計画通り	B 計画を上回って	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 中期計画期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響による救急医療、入院患者の制限などがあり、入院診療収益、外来診療収益は大幅な減収であるが、病床確保に対する補助金などにより営業収益は大幅な増収になる見込みである。 費用について材料費などは減少しているが、補助金を利用した医療機器の減価償却費2,113万円の増加、備品整備、光熱水費などの経費などの経費1億7,965万円の増加がある。その結果、約5億5,244万円の当期純利益の見込みである。 これらの点から、純利益の額が大きく増加したことだけ見ればB評価であるものの、その要因は計画策定当初に見込めなかった新型コロナウイルス感染症に対する空床確保補助金の大きな影響であることから、C評価とする。

4 その他業務運営に関する重要事項

小項目 区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
①地域医療構想の実現に向けた取組み 【59～60 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 佐世保県北医療圏において、新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、医療需要に応じた病床の機能分化と地域完結型医療を実現するために、地域に求められる医療体制の構築に努めるなど必要な役割を果たしている。 また、病床稼働率等地域の実情に応じた再編・統合についての構想は、コロナ禍で感染対策を優先するため至っていない。これについては新型コロナウイルス感染症による影響であることなどからC評価とする。
②働き方改革の推進 【61～62 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 勤務医等の負担軽減のための検討委員会を毎月開催し、報告、検討を行っている。女性の活躍推進を含めた次世代育成支援のための行動計画について令和3年度に3年間の目標を周知し、取り組みに努めている。これらの点から、C評価とする。
③災害時における事業継続性の強化 【63～64 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生後、早期に診療機能を回復できるよう災害医療BCP（業務継続計画）の確認・見直しを行っている。また、災害医療BCPに基づき、被災した状況を想定した研修及び訓練を実施し、医療救護活動の対応能力と職員の危機管理意識の向上を図っている。これらの点から、C評価とする。

◎ 大項目評価 ※ () 書きは、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しない場合

1 住民サービス等質の向上	2 業務運営の改善及び効率化	3 財務内容の改善	4 その他の重要事項
C 概ね計画通り 【評価者評価 最終 B:2、C:17】 (評価者評価 通常 B:2、C:13、D:4)	C 概ね計画通り 【評価者評価 C:3】 (評価者評価 通常 C:3)	C 概ね計画通り 【評価者評価 最終 C:4】 (評価者評価 通常 B:3、C:1)	C 概ね計画通り 【評価者評価 C:3】 (評価者評価 通常 C:3)

1 住民に提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 大項目評価の結果 C (目標の達成に向けて概ね計画通り進んでいる)

	A (5点)	B (4点)	C (3点)	D (2点)	E (1点)	合計
小項目数	0	2 (2)	17 (13)	0 (4)	0	19項目
点数	0	8 (8)	51 (39)	0 (8)	0	59点 (55点)

【平均点】 59点 ÷ 19項目 = 3.11 ≒ 3点 (評価区分 C)
(55点 ÷ 19項目 = 2.89 ≒ 3点 (評価区分 C))

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 大項目評価の結果 C (目標の達成に向けて概ね計画通り進んでいる)

	A (5点)	B (4点)	C (3点)	D (2点)	E (1点)	合計
小項目数	0	0	3 (3)	0	0	3項目
点数	0	0	9 (9)	0	0	9点 (9点)

【平均点】 9点 ÷ 3項目 = 3.00 = 3点 (評価区分 C)
(9点 ÷ 3項目 = 3.00 = 3点 (評価区分 C))

3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 大項目の評価結果 C (目標の達成に向けて概ね計画通り進んでいる)

	A (5点)	B (4点)	C (3点)	D (2点)	E (1点)	合計
小項目数	0	0 (3)	4 (1)	0	0	4項目
点数	0	0 (12)	12 (3)	0	0	12点 (15点)

【平均点】 12点 ÷ 4項目 = 3.00 = 3点 (評価区分 C)
(15点 ÷ 4項目 = 3.75 = 4点 (評価区分 B))

4 その他業務運営に関する重要事項 大項目の評価結果 C (目標の達成に向けて概ね計画通り進んでいる)

	A (5点)	B (4点)	C (3点)	D (2点)	E (1点)	合計
小項目数	0	0	3 (3)	0	0	3項目
点数	0	0	9 (9)	0	0	9点 (9点)

【平均点】 9点 ÷ 3項目 = 3.00 = 3点 (評価区分 C)
(9点 ÷ 3項目 = 3.00 = 3点 (評価区分 C))

◎ 全体評価

全体評価の結果 C（目標の達成に向けて概ね計画通り進んでいる）

大項目区分	A (5点)	B (4点)	C (3点)	D (2点)	E (1点)	合計
1 住民に提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	0 (0)	8 (8)	51 (39)	0 (8)	0 (0)	59 (55)
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	9 (9)
3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	0 (0)	0 (12)	12 (3)	0 (0)	0 (0)	12 (15)
4 その他業務運営に関する重要事項	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	9 (9)
合計	0 (0)	8 (20)	81 (60)	0 (8)	0 (0)	89 (88)

※（ ）書きは、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しない場合の評価点数

全体評価の結果

【平均点】 89点 ÷ 29項目 = 3.07点 ≒ 3点（評価区分 C）
 (88点 ÷ 29項目 = 3.03点 ≒ 3点（評価区分 C）)

◎ 評価のまとめ

第6期中期目標期間は、世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症により、令和2年度及び3年度で実績値が目標値を達成できない項目が散見されたが、これは法人の努力を超えた範疇のものであることは明らかであり、令和4年度の見込み値も含め、同感染症の影響を一定考慮した評価としている。

小項目の評価については、記述している通りであるが、その結果、大項目区分の「住民に提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」、「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「その他業務運営に関する重要事項」は、すべてC評価となった。これにより、全体評価についてもC評価となり、北松中央病院の第6期中期目標期間の業務実績見込評価結果は中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画通り進んでいるという評価結果であり、適正かつ効率的な業務運営に努めていることが確認された。

なお、評価に当たり特徴的であった内容は次のとおり。

- ① 医療体制：R2年度、R3年度の業績においては、様々な場面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。特に感染症指定医療機関として必要な感染対策を講じつつ、佐世保県北二次医療圏内でも高齢化などにより顕著な医師不足が見られる圏内北部地域において、R2年度までは内科医8名と外科医1名の常勤医師、R3年度は内科医9名（外科医は非常勤医師）を引き続き確保し、地域住民への安定した医療の提供に努めた。
- ② 高度専門医療：新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、高い医療レベル維持のため、医師、医療スタッフの研修を行い、透析医療、内視鏡検査・処置、心臓カテーテル検査・治療を継続している。また、高度・専門医療整備のため、年度ごとに医療機器を導入している。
- ③ 救急医療・介護保険サービス：新型コロナウイルス感染症の対応に追われながらも、一般の救急患者の受け入れ体制を維持し、目標とする救急患者の院内治療の完結率向上にも努めた。訪問看護や居宅介護支援については、利用者アンケートの結果をサービス改善に生かしながら、訪問件数など目標値を上回る実績が上げられている。
- ④ 新型コロナウイルス感染症対応：新型コロナウイルス感染症への対応については、佐世保県北二次医療圏の北部地域に1つしかない第2種感染症指定医療機関として、疑いを含む感染患者の受け入れのための病床確保と、その患者受け入れを行った。また、外来診療においても発熱患者に対し積極的に新型コロナウイルス感染症の検査を行い、その感染拡大の防止に努めるなど、地域における中核的役割を果たした。
- ⑤ 財務・収支：R2年度、R3年度の当院の経営においては、新型コロナウイルス感染症の影響で、患者数が大幅に減少し、入院、外来などの医業収益に大きなダメージを受けた。一方で、感染対策のための給与費・材料費などで支出がかさみ、大きな赤字に陥る可能性があった。しかしながら、空床確保に対する補助金をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策のための各種補助金などで補てんされた結果、最終的にはR2年度1.7億円、R3年度2.4億円の純利益が生じている。今後、R4年度以降、新型コロナウイルス感染症が収束し補助金収入がなくなる一方で、減少した患者数が従来の状態に戻るまでは、厳しい経営が続くことも予想される。また、R2年11月に松浦市に開院した「松浦中央病院」とは一部、診療等において競合する部分があるため、その動きにも注視しつつ上手く連携していく必要がある。